

【今日の説教から】

「わたしたちが神の子と呼ばれるためには、どんなに大きな愛を父から賜わったことか、よく考えてみなさい。わたしたちは、すでに神の子なのである」と始まった3章ですが、私たちの望みは、将来イエス様が現れる時、そのありのままの姿を見て、私たちが主に似るものになるということでした。聖霊が宿り、私たちはいつもキリストにつながれ、この方を目指す生き方に入れられました。その生き方において、「兄弟を愛する」ということは当然の行路ですが、罪と悪魔の惑わしの中、どれだけ多くの方々がこの真理から迷い出しているのでしょうか。

カインのように、自らの悪行を自覚する者にとっては正しい者を抹殺せずには自分の立つ瀬がないというまでに破壊的な思いに心は苛まれるのです。「兄弟たちよ。世があなたがたを憎んでも、驚くには及ばない。」とある通りです。

しかし、「わたしたちは、兄弟を愛しているので、死からいのちへ移ってきたことを知っている。愛さない者は、死のうちにとどまっている」と聖書は言い切ります。

「主は、わたしたちのためにいのちを捨てて下さった。それによって、わたしたちは愛ということを知った。それゆえに、わたしたちもまた、兄弟のためにいのちを捨てるべきである」私たちが道に迷い、頓珍漢なことをしない為にただ一つ知るべきことは、主と主の愛を知ることです。主の愛にとどまつていれば、良き行いが生まれ、命の中に留まるのです。

皆様、梅雨本番のじめじめとした毎日ですが、お元気でお過ごしでしたでしょうか。

いよいよ明日から7月。今年も後半戦です。26日にはパリオリンピックの開会式があります。夏に向かい行きますが、どうぞ皆様水分補給に心がけられ、熱中症にお気を付けください。

さて、1ヨハネの3章を読み進めております。

3:1 「わたしたちが神の子と呼ばれるためには、どんなに大きな愛を父から賜わったことか、よく考えてみなさい。わたしたちは、すでに神の子なのである」と始まった3章ですが、私たちの望みは、将来イエス様が現れる時、そのありのままの姿を見て、私たちが主に似るものになるということでした。聖霊が宿り、私たちはいつもキリストにつながれ、この方を目指す生き方に入れられました。その生き方において、「兄弟を愛する」ということは当然の行路ですが、罪と悪魔の惑わしの中、どれだけ多くの方々がこの真理から迷い出しているのでしょうか。

11 わたしたちは互に愛し合うべきである。これが、あなたがたの初めから聞いていたおとずれである。

3:12 カインのようになってはいけない。彼は悪しき者から出て、その兄弟を殺したのである。なぜ兄弟を殺したのか。彼のわざが悪く、その兄弟のわざは正しかったからである。

「なぜ兄弟を殺したのか。彼のわざが悪く、その兄弟のわざは正しかったからである」
カインの捧げものが受け入れられないのは、神様が彼の心と彼の行いを見ておられたからでした。

詩篇 51:16 あなたはいけにえを好まれません。たといわたしが燔祭をささげても／あなたは喜ばれないでしょう。

51:17 神の受けられるいけにえは碎けた魂です。神よ、あなたは碎けた悔いた心を／からしめられません。

マタイ 5:21 昔の人々に『殺すな。殺す者は裁判を受けねばならない』と言っていたことは、あなたがたの聞いているところである。

5:22 しかし、わたしはあなたがたに言う。兄弟に対して怒る者は、だれでも裁判を受けねばならない。兄弟にむかって愚か者と言う者は、議会に引きわたされるであろう。また、ばか者と言う者は、地獄の火に投げ込まれるであろう。

5:23 だから、祭壇に供え物をささげようとする場合、兄弟が自分に対して何かうらみをいだいていることを、そこで思い出したなら、

5:24 その供え物を祭壇の前に残しておき、まず行ってその兄弟と和解し、それから帰ってきて、供え物をささげることにしなさい。

5:25 あなたを訴える者と一緒に道を行く時には、その途中で早く仲直りをしなさい。そうしないと、その訴える者はあなたを裁判官にわたし、裁判官は下役にわたし、そして、あなたは獄に入れられるであろう。

箴言 17 章 9 節

【新改訳改訂3】

人の心は何よりも陰険で、それは直らない。だが、それを知ることができよう。

【口語訳】

心はよろずの物よりも偽るもので、はなはだしく悪に染まっている。だがこれを、よく知ることができようか。

【新共同訳】

人の心は何にもまして、とらえ難く病んでいる。誰がそれを知りえようか。

マタイ 5 章にて、イエス様はこう言われました。

マタイ 5:21 昔の人々に『殺すな。殺す者は裁判を受けねばならない』と言っていたことは、あなたがたの聞いているところである。

5:22 しかし、わたしはあなたがたに言う。兄弟に対して怒る者は、だれでも裁判を受けねばならない。兄弟にむかって愚か者と言う者は、議会に引きわたされるであろう。また、ばか者と言う者は、地獄の火に投げ込まれるであろう。

人に腹を立てない人がいるでしょうか。人に少しでも恨みを抱かない人がいるでしょうか。私たちは皆罪びとであり、死罪を受けなければならない者であることが分かります。

3:12 カインのようになってはいけない。彼は悪しき者から出て、その兄弟を殺したのである。なぜ兄弟を殺したのか。彼のわざが悪く、その兄弟のわざは正しかったからである。

兄弟げんかとは時に熾烈なことがあります。兄弟は、常にライバルです。特に兄、年上の中には年下の者に対して体面を施すことが出来ない時に強いストレスを感じるものです。

自らの業が悪く、物事がうまくいかないのに弟はうまくいっている。神様の弟の捧げものを受け取られたが、自分の捧げものはお受け取りになられなかった。顔に泥を塗られた。このことを神様に問うべきだったのに、そうして彼は自分の心のうちまで見抜いているお方を前にして、自分の心を正していただける機会だったのに、彼はそれをせず、逆恨みのうちに弟を殺害します。過ちに陥らない、正しく神と共に進み、祝福を受ける、順風満帆に見える弟に対して、カインは激しい憎悪を募らせました。

しかしこれは彼に限ったことではなくて、罪の中にある者すべての弱さです。

3:11 なぜなら、互いに愛し合うこと、これがあなたがたの初めから聞いている教えだからです。

3:12 カインのようになってはなりません。彼は悪い者に属して、兄弟を殺しました。なぜ殺したのか。自分の行いが悪く、兄弟の行いが正しかったからです。

3:13 だから兄弟たち、世があなたがたを憎んでも、驚くことはありません。

世があなたを憎んでも、驚くことはありません。世がわたしたちを知らないばかりではなく、理解しないばかりではなく、無理解でつまはじきにするばかりではなく、憎むものであるということ、カインが弟アベルを憎んで殺してしまったほどに、正しくいきたいと願うものに憎悪の火を燃やして敵対し、この世から取り除こうと画策する、私たちへの憎しみを知った

しても驚くことはないと聖書は語ります。ですから、私たちの歩みは、そういうものであるのではなくて、「互いに愛し合うこと」なのです。互いの非を認め合い、赦しあい、互いの徳を高めるのです。

ガラテヤ 5:13 兄弟たちよ。あなたがたが召されたのは、実に、自由を得るためである。ただ、その自由を、肉の働く機会としないで、愛をもって互に仕えなさい。

5:14 律法の全体は、「自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ」というこの一句に尽きるからである。

5:15 気をつけるがよい。もし互にかみ合い、食い合っているなら、あなたがたは互に滅ぼされてしまうだろう。

5:16 わたしは命じる、御靈によって歩きなさい。そうすれば、決して肉の欲を満たすことはない。

5:17 なぜなら、肉の欲するところは御靈に反し、また御靈の欲するところは肉に反するからである。こうして、二つのものは互に相さからい、その結果、あなたがたは自分でしようと思うことを、することができないようになる。

5:18 もしあながたが御靈に導かれるなら、律法の下にはいない。

5:19 肉の働きは明白である。すなわち、不品行、汚れ、好色、

5:20 偶像礼拝、まじない、敵意、争い、そねみ、怒り、党派心、分裂、分派、

5:21 ねたみ、泥酔、宴樂、および、そのたぐいである。わたしは以前も言ったように、今も前もって言っておく。このようなことを行う者は、神の国をつぐことがない。

5:22 しかし、御靈の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、

5:23 柔和、自制であって、これらを否定する律法はない。

5:24 キリスト・イエスに属する者は、自分の肉を、その情と欲と共に十字架につけてしまったのである。

5:25 もしわたしたちが御靈によって生きるのなら、また御靈によって進もうではないか。

5:26 互にいどみ合い、互にねたみ合って、虚栄に生きてはならない。

1 ヨハネ 2:17 世と世の欲とは過ぎ去る。しかし、神の御旨を行う者は、永遠にながらえる。

世の中の考えに惑わされず、「目には目を」とは考えずに、神様の御心を願い、実行する者でありたいと願います。

マタイ 5:38 『目には目を、歯には歯を』と言っていたことは、あなたがたの聞いているところである。

5:39 しかし、わたしはあなたがたに言う。悪人に手向かうな。もし、だれかがあなたの右の頬を打つなら、ほかの頬をも向けてやりなさい。

5:40 あなたを訴えて、下着を取ろうとする者には、上着をも与えなさい。

5:41 もし、だれかが、あなたをしいて一マイル行かせようとするなら、その人と共に二マイル行きなさい。

5:42 求める者には与え、借りようとする者を断るな。

5:43 『隣り人を愛し、敵を憎め』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

5:44 しかし、わたしはあなたがたに言う。敵を愛し、迫害する者のために祈れ。

5:45 こうして、天にいますあなたがたの父の子となるためである。天の父は、悪い者の中にも良い者の上にも、太陽をのぼらせ、正しい者にも正しくない者にも、雨を降らして下さるからである。

5:46 あなたがたが自分を愛する者を愛したからとて、なんの報いがあろうか。そのようなことは取税人でもするではないか。

5:47 兄弟だけにあいさつをしたからとて、なんのすぐれた事をしているだろうか。そのようなことは異邦人でもしているではないか。

5:48 それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。

3:14 わたしたちは、兄弟を愛しているので、死からいのちへ移ってきたことを、知っている。愛さない者は、死のうちにとどまっている。

3:15 あなたがたが知っているとおり、すべて兄弟を憎む者は人殺しであり、人殺しはすべて、そのうちに永遠のいのちをとどめてはいない。

私たちは、命を得るようにと神様がイエス様を遣わされて語られたこと、そして救いの御業をなさったことと、どのように関係して生きていきたいと願っているでしょうか。その御言葉の中に込められている意味を知って、救いの中を歩きたいと切に願い、そしてその輝かしい救いの御業によって、ただ救われていると信じているでしょうか。そうであれば、私たちは兄弟を愛する愛の中に留まるのです。どんなにか私たちの中に嫉妬やライバル心や、妬みがあろうとも、私たちは神様のその愛とのゆえに、救いのゆえに、それらの心の思いをかなぐり捨てて、愛を志したいと願うことが出来るのです。そして、私たちは死から命へ移ってきたということを知ることが出来るのです。神様に導かれていないのならば、私たちは生まれつきの性質の中にいるのであり、それは罪の中を進む悪魔の子に属することであるということが聖書には書かれています。

3:16 主は、わたしたちのためにいのちを捨てて下さった。それによって、わたしたちは愛ということを知った。それゆえに、わたしたちもまた、兄弟のためにいのちを捨てるべきである。

私たちは赦され、きよめられ、力づけられ強められ、惡の惑わしと対立とから高く隔てられ、愛の何たるかをイエス様から教えられ、今イエス様によって高められ、高みに至って良き業をなすことが出来るようになったのです。それはイエス様の愛のお手本によるものです。

3:17 世の富を持っていながら、兄弟が困っているのを見て、あわれみの心を閉じる者には、どうして神の愛が、彼のうちにあろうか。

3:18 子たちよ。わたしたちは言葉や口先だけで愛するのではなく、行いと真実とをもって愛し合おうではないか。

その神様の愛を知るようにならせていただいた機会を、ただ自分のためだけにしまっておくのではなく、頭の知識にとどめておくのではなくて、本当にイエス様を知る者にとっては、それを行わざにはいられない、神様の愛が息づいているところの行いへと私たちを導くのです。言葉や口先だけのものではなくて、行いと真実とをもって実践する、そういうよい行いの身を生む、生きた木としての私たちの人生が開かれているのです。

マタイ 7章

7:7 求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。

7:8 すべて求める者は得、捜す者は見いだし、門をたたく者はあけてもらえるからである。

7:9 あなたがたのうちで、自分の子がパンを求めるのに、石を与える者があろうか。

7:10 魚を求めるのに、へびを与える者があろうか。

7:11 このように、あなたがたは悪い者であっても、自分の子供には、良い贈り物をすることを知っているとすれば、天にいますあなたがたの父はなおさら、求めてくる者に良いものを下さらないことがあろうか。

7:12 だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。これが律法であり預言者である。

7:16 あなたがたは、その実によって彼らを見わけるであろう。茨からぶどうを、あざみからいちじくを集める者があろうか。

7:17 そのように、すべて良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結ぶ。

7:18 良い木が悪い実をならせることはないし、悪い木が良い実をならせることはできない。

7:19 良い実を結ばない木はことごとく切られて、火の中に投げ込まれる。

7:20 このように、あなたがたはその実によって彼らを見わけるのである。

7:21 わたしにむかって『主よ、主よ』と言う者が、みな天国にはいるのではなく、ただ、天にいますわが父の御旨を行う者だけが、はいるのである。

7:22 その日には、多くの者が、わたしにむかって『主よ、主よ、わたしたちはあなたの名

によって預言したではありませんか。また、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの力あるわざを行ったではありませんか』と言うであろう。

7:23 そのとき、わたしは彼らにはっきり、こう言おう、『あなたがたを全く知らない。不法を働く者どもよ、行ってしまえ』。

7:24 それで、わたしのこれらの言葉を聞いて行うものを、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができよう。

7:25 雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけても、倒れることはない。岩を土台としているからである。

7:26 また、わたしのこれらの言葉を聞いても行わない者を、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に比べることができよう。

7:27 雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れてしまう。そしてその倒れ方はひどいのである』。

7:28 イエスがこれらの言を語り終えられると、群衆はその教にひどく驚いた。

7:29 それは律法学者たちのようにではなく、権威ある者のように、教えられたからである。

◇祈祷；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。本当の愛を知らないまま道に迷い、人を憎んだり、理解する努力を捨てたり、自らが第一であるようにふるまっておりましたのに、イエス様はそんな私たちのために命を捨てて、そのご愛のほどを私たちに示してくださいました。自らの行いが悪く、それを直すよりもむしろ正しい人を抹殺して臭いものにはふたをして、正義を無視し続ける、憎しみの渦巻く世の中ですが、どうかいのちを捨ててくださった主にならって敵を赦して愛するイエス様の生き方に今週も行かせてください。どうぞあらゆる苦しめる方々を神様の救いと平安の中にお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン